



SUZUKA CIRCUIT

HONDA
Honda Mobilityland

鈴鹿サーキットのサステナビリティ経営について

ホンダモビリティランド株式会社

おれはサーキットが欲しいんだ。
レースをやらなければ、
クルマは良くなるらない。

本田 宗一郎



そこには遊園地を開設すべきだ。
それは自動車遊園地で、
自分で操縦する楽しみを味わえる
乗りものだけにするんだ。

藤澤 武夫 2

Since 1962



大切な米を作る
田んぼをつぶしてはいけない

本田 宗一郎

鈴鹿サーキットで開催する主なモータースポーツイベント





SUZUKA CIRCUIT

モータースポーツ

交通教育

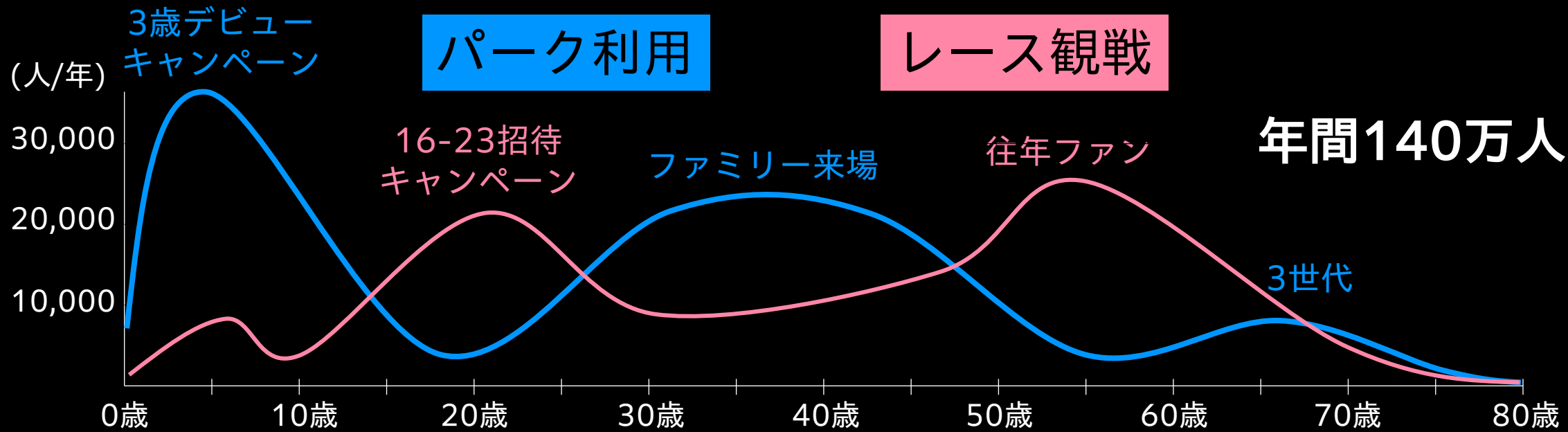


パーク

ホテル・レストラン



鈴鹿サーキット 来場者年齢



モビリティへの興味醸成

モータースポーツ振興

モビリティ業界における次世代のユーザー・ファン・人材づくり

国際イベント開催要件



FIA / Formula 1 の取り組み



Photo : FIA



Photo : ©Formula One World Championship Limited




F 2026

 **MAR 06-08** ROUND 1 | MELBOURNE
AUSTRALIA

 **MAR 13-15** ROUND 2 | SHANGHAI
CHINA

 **MAR 27-29** ROUND 3 | SUZUKA
JAPAN

 **APR 10-12** ROUND 4 | SAKHIR
BAHRAIN

 **APR 17-19** ROUND 5 | JEDDAH
SAUDI ARABIA

 **MAY 01-03** ROUND 6 | MIAMI
MIAMI

 **MAY 22-24** ROUND 7 | MONTREAL
CANADA

 **JUN 05-07** ROUND 8 | MONACO
MONACO

 **JUN 12-14** ROUND 9 | BARCELONA - CATALUNYA
SPAIN


 **JUN 26-28** ROUND 10 | SPIELBERG
AUSTRIA

 **JUL 03-05** ROUND 11 | SILVERSTONE
GREAT BRITAIN

 **JUL 17-19** ROUND 12 | SPA-FRANCORCHAMPS
BELGIUM

 **JUL 24-26** ROUND 13 | BUDAPEST
HUNGARY

 **AUG 21-23** ROUND 14 | ZANDVOORT
NETHERLANDS

 **SEP 04-06** ROUND 15 | MONZA
ITALY

 **SEP 11-13** ROUND 16 | MADRID
SPAIN

 **SEP 24-26** ROUND 17 | BAKU
AZERBAIJAN


 **OCT 09-11** ROUND 18 | SINGAPORE
SINGAPORE

 **OCT 23-25** ROUND 19 | AUSTIN
UNITED STATES

 **OCT NOV 30-01** ROUND 20 | MEXICO CITY
MEXICO

 **NOV 06-08** ROUND 21 | SÃO PAULO
BRAZIL

 **NOV 19-21** ROUND 22 | LAS VEGAS
LAS VEGAS

 **NOV 27-29** ROUND 23 | LUSAIL
QATAR

 **DEC 04-06** ROUND 24 | YAS ISLAND
ABU DHABI

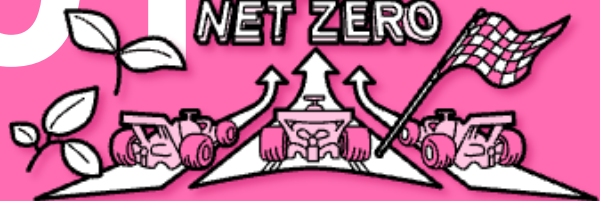
*SUBJECT TO FIA CIRCUIT HOMOLOGATION

6つの視点で実現するサステナブルな FORMULA 1 JAPANESE GRAND PRIX

01

2030
NET ZERO

脱炭素



02

エネルギー



03

廃棄物



04

ファンの移動



05

ウェルビーイング
と自然

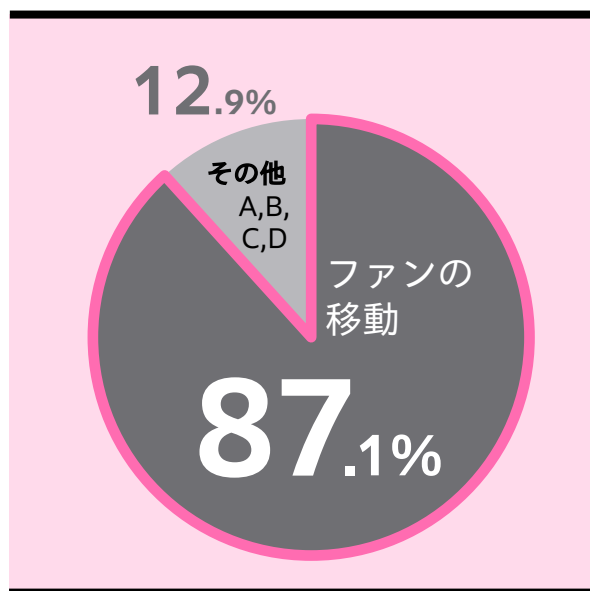


06

地域コミュニティ



2030年ネットゼロ 実現に向けた 炭素排出量の把握



排出源	2025* (t-CO2)
Scope 1 (発電機燃料)	0
Scope 2 (系統電力)	0
Scope 3 (Scope1,2 以外の間接排出)	2,723
ファンの移動	2,404
A ロジスティクス	182
B スタッフ移動/宿泊	110
C 廃棄物	17
D 運営車両	10

02



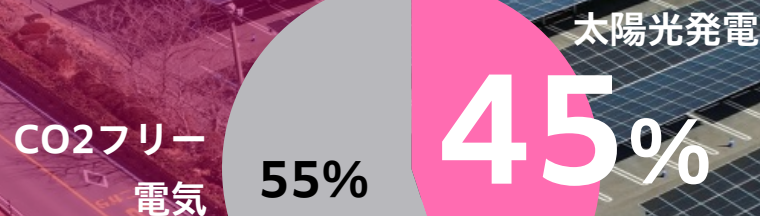
エネルギー

Scope1,2のカーボンニュートラルを達成

回避できない排出量は
グリーン電気の導入と
カーボンクレジットでオフセット



イベント期間
使用電力（系統電力）
（2025/3/23-4/14）



パドック発電機
HVO燃料使用率

2025

100%

2024

16%

軽油 84%

NET ZERO

03



廃棄物

分別回収の徹底が、 リサイクル率 向上の鍵

混合ゴミの組成調査により
分別精度を測定&改善



リサイクル率

4.6^{UP}%

ダンボール・カン・PETボトル・プラスチック・
刈草・枝葉・生ごみ・**廃食油・ビン（ガラス）**

2025
(132 t)

46.1%

53.9%

0%

マテリアルリサイクル・
コンポスト

エネルギー
リカバリー

埋立て

2024
(140 t)

41.5%

55.6%

2.9%



03



廃棄物

シングルユース プラスチックの

提供

ZERO

バイオマス容器



アップサイクル
&
資源循環



リターナブル
アルミカップ



給水スポット



廃食油



液体石鹸



ペットボトルから
缶飲料へ



紙袋



刈草・枝



花壇肥料





“移動”から変える、 JAPANESE GRAND PRIX のネットゼロ



環境配慮型の移動手段で 来場したファンの割合

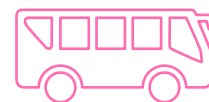
64.4%

前年 60.5%



鉄道

前年 40.8% ▶ 43.9%



バス

2.3% ▶ 4.4%



乗合タクシー/
ライドシェア

— ▶ 0.1%



ハイブリット/
EV車
10.7%



自転車／徒歩
2.2%



その他
3.1%



ガソリン車/
ディーゼル車
34.3%



バイク
1.3%

一般的な移動手段で 来場したファンの割合

35.6%

前年 39.5%



移動手段については、2025 JAPANESE GRAND PRIX来場者アンケートをもとに、自宅または入国地点から鈴鹿サーキットまでの主な交通手段（インバウンドを含む）を調査しています。

05



ウェルビーイングと自然

誰もが快適に過ごせる JAPANESE GRAND PRIX を目指して



桜の植樹
+75本

500本

車いす観戦席（400席）

日陰スペース設置



おむつ替え・お着換え・お絵描きスペース



ベジタリアン対応メニュー（50店舗）



06

地域コミュニティ



地元と築く未来： 三重県経済への 実践的アプローチ

2025年
経済波及効果

(単位: 億円)

全国

直接効果 424

間接効果 344

768 億円

三重県

直接効果 146
間接効果 55

201 億円

2,015人

6,949人

雇用創出効果



JAPANESE GRAND PRIX年間取引実績

三重県

285

企業/
団体

(全体の62.6%)

全体

455

企業/
団体

地元産品の活用事例



三重の小麦粉「あやひかり」、
四日市川村養蜂場の天然はちみつ
を使用



パドック内で
地元名産「伊勢醤油」を使用



地元の三重県産の
食材伊勢海老とあおさを使用

06

地域コミュニティ



JAPANESE GRAND PRIXが 届ける次世代の学び と可能性

余剰食糧

約 7.8t



提供



こども食堂等

4,000 家族

招待数

木曜・金曜には周辺地域から18歳以下のファミリーを招待し、モータースポーツに触れる機会を提供することで、地域産業への理解と興味喚起を促進

市内在住の小学4～6年生がF1®ドライバーと交流。日本文化をドライバーに伝える異文化交流によって学習の機会を提供

30人

小学生

24人

インターン

地元学生によるインターンシップ、ボランティアとして参画いただくことで、学生が国際イベントを通じてグローバルコミュニケーションを実践する機会を提供

ホンダモビリティランドのサステナビリティ経営

自動車メーカーの課題

環境性能技術開発

耐久性能試験

技術PR

代替
燃料

材料

共通の社会課題

再生可能エネルギー

廃棄物削減

資源循環

低炭素移動

ウェルビーイング

地域社会

電力

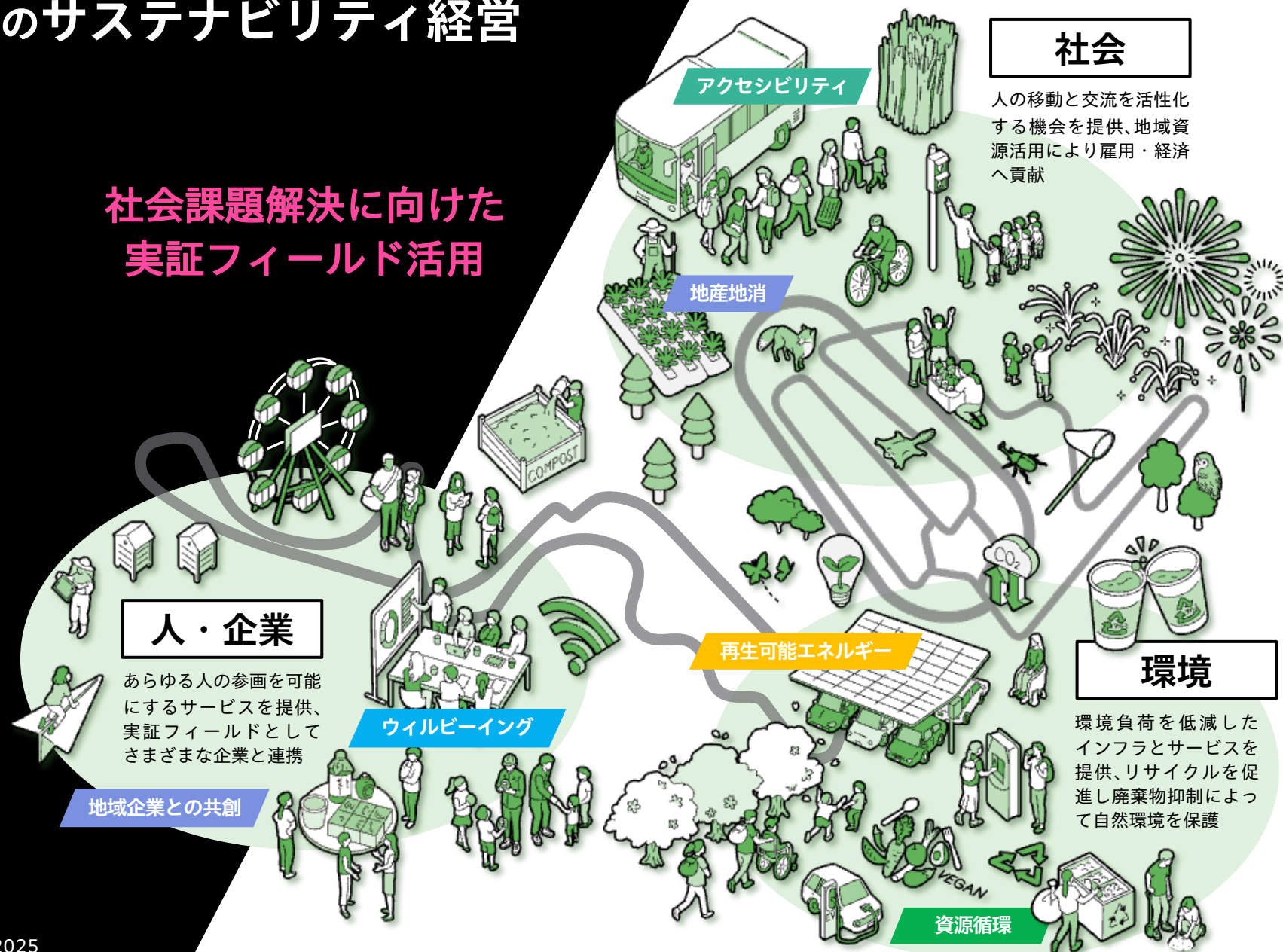
資源

移動

健康

社会

社会課題解決に向けた 実証フィールド活用



サステナビリティ経営に向けて

社会課題解決に向けた実証フィールド



世界から注目される国際イベントの開催



産学官

社会課題解決に繋がる技術・サービス

「サステナビリティパートナーシップ」へ

OFFICIAL PARTNER



SUSTAINABILITY PARTNER



